

備前の色に染まる家



【玄関ホール】足元まで開いた窓の一部は風を取り込めるようにした。坪庭は大きな窓で切り取られた絵のよう。



【LDK】一般的な古民家の田の字間取りをそのままLDKに。天井は梁を表しにした事で、空間に動きが出ている。



—— 古民家再生をされたきっかけを教えてください。

お客様
Interview

自社の大工さんだから
安心できた

ご主人 築94年になる私の実家で、母が一人で住んでいました。母も高齢になって、そろそろ帰ろうかってことになって。リノベーションするか、新築しようか悩んでいたんですが、他社では建て替えの話ばかりされて。そんな時になんばさんを見つけたんです。HPの施工事例を見て、こんなに綺麗になるんだって。

奥様 近所でもご実家を建て替えられた方がいたんですが、せっかくの建物を壊してしまってもったいないことをした。とか、シロアリにやられてしまつて、早く対策しておけばよかった。という後悔の声を聞いていて。立派な建物だから残したいと思っていましたし、今では手に入らないような木もたくさん使われているって聞いて、これを壊したらいけないなと。そんな時、たまたま住宅フェアになんばさんが出展されていて、飛び込みで話を聞きに行ったけど、とても良くしてもらったんです。すぐに家を見に来られて、「大切なお家なので残しましょう！」と言ってくれました。

ご主人 手をいれる前の部屋は寒くて、暗くて、じめじめしていて。湿気で床がふわふわしていました。冬は家の中でも、外にいるのと同じくらい着込んでいましたよ。段差もすごくて、高齢の母にはしんどかったと思います。

奥様 当時の建物は、まさに昭和のリフォームって感じでした。プリント合板が貼られていて、手を入れた時期によつて部屋ごとに雰囲気が違う、つぎはぎのような家になっていました。せっかくの建物の良さが隠されている感じで。なので、なんばさんには和風の建物を活かすような古民家再生をお願いしました。

—— 印象的なエピソードを教えてください。

奥様 お母さんが暮らしながらの工事だったので、色々段取りを考えて工事を進めてくださいました。